



2020年10月吉日

お客様各位

MFS インベストメント・マネジメント株式会社
代表取締役社長 井上 義典

MFS 米国本社の役員人事についてのご報告

拝啓、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は弊社業務に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、再来年（2022年）3月1日付で、MFS 米国本社の経営陣の役割分担が一部変更されることとなりましたので、ご報告申し上げます。

これまで MFS のエグゼクティブ・チェアマンを務めて参りましたロバート・マニング (Robert J. Manning) が同職から退任し、引退することとなりました。1984年に MFS に入社したマニングは、37年以上の在籍期間を経て、2022年3月1日付で MFS を退職する予定です。マニングの退任後は、MFS の最高経営責任者 (CEO) であるマイケル・ロバージ (Michael W. Roberge) が会長職に就くとともに、CEO 職を継続します。

マニングは、1984年にマサチューセッツ大学ローウェル校を卒業、現在マサチューセッツ大学の評議員会議長を務めています。今回の発表に当たり、次のように述べています。“MFS は私がこれまで働いてきた中で唯一の会社であり、30年半以上のキャリアを経て、私は人生の次の段階に移行することを決意しました。MFS を真にグローバルで競争力の高いワールドクラスの資産運用会社にするために行ってきた仕事を非常に誇りに思っています。引退後は家族と過ごす時間をより多く持ち、評議員としてマサチューセッツ大学をサポートし奉仕し続けることを楽しみにしています。”

マニングと共同最高経営責任者を務めるなど、約25年にわたりマニングと密接に仕事をしてきたロバージは、MFS の後継者計画アプローチに基づくスムーズな職務移行のために、今後もマニングと連携して仕事をしていく予定です。“ロバートは、私を含め MFS の多くの人々にとって真のリーダーであり、友人であり、指導者でもあります。彼が MFS に高い基準を設けたことで、彼が MFS を去るときには、MFS が今後も世界的な成功を継続できるだけの確固たる地位にあることが証明されることでしょう。私たちは皆、彼の意志を継いで、彼が望んでいたように、可能な限り最善の方法でお客様にサービスを提供するよう努力して参ります。”

マニングのリーダーシップの下、MFS は世界中の個人投資家や機関投資家のみなさまに価値を提供できるグローバルな資産運用会社へと発展しました。マニングと彼のリーダーシップ・チームが実施した多くの取り組みや変化は、MFS を継続的な成功に導くだけでなく、2008年の世界金融危機を乗り越え、現在進行中の世界的なパンデミックに直面しても、MFS を成功させ続けることを可能にしています。



マニングは 1984 年に債券リサーチ・アナリストとして MFS に入社し、その後、債券ポートフォリオマネジャー、債券ストラテジスト、債券リサーチ・ディレクターなど、MFS の投資部門でいくつかの役職を歴任しました。2004 年に CEO 兼最高投資責任者 (CIO)、2010 年に会長職、2015 年にはロバージと並んで共同 CEO に就任しました。2017 年からは現職のエグゼクティブ・チェアマンを務めています。

本件は MFS における長期的な経営承継計画の一ステップであり、また、MFS の投資部門及び営業部門におけるお客様とのアラインメントやクライアント・ファーストの取り組みを強化し、MFS がアクティブマネジャーとして更なる成長を果たすことを目標としています。引き続き、CEO のロバージ、CIO のテッド・マロニーおよび社長のキャロル・ジェレミアが経営陣の中核として職務に力を注ぐことに変わりはなく、また MFS の運用体制においても一切の変更はありません。お客様に、従来にも増してご満足頂けるようなサービスのご提供をさせて頂くべく努力する所存でございますので、変わらずお引き立て下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

<変更前>

ロバート・マニング： エグゼクティブ・チェアマン
マイケル・ロバージ： 最高経営責任者(CEO)

<変更後 (2022 年 3 月 1 日付) >

マイケル・ロバージ： 会長、兼最高経営責任者(CEO)

本件ご照会先： 営業部 (Tel: 03-5510-8550)

以上

【略歴】

○ ロバート・マニング (Robert J. Manning)

エグゼクティブ・チェアマン

1984年ハイ・イールド債券アナリストとしてMFS入社、債券ポートフォリオマネジャー、債券リサーチ・ディレクター、債券運用部門最高責任者などを歴任し、2004年最高経営責任者(CEO)に就任、2010年より会長(Chairman)を兼務

2015年1月、会長、兼共同最高経営責任者(co-CEO)

2017年1月、エグゼクティブ・チェアマン(Executive Chairman)



○ マイケル・ロバージ (Michael W. Roberge)

最高経営責任者(CEO)

1996年地方債クレジット・アナリストとしてMFS入社、債券ポートフォリオマネジャー、債券リサーチ・ディレクター、債券運用部門責任者 2006年米国運用部門CIOなどを歴任し、2009年社長に就任

2010年、社長、兼CIO

2015年、社長、共同最高経営責任者(co-CEO)、兼CIO

2017年、CEO、社長、兼CIO

2018年1月、CEO、兼CIO

2019年1月、CEO



○ テッド・マロニー (Edward M. "Ted" Maloney)

最高投資責任者(CIO)

株式ポートフォリオマネジャー

2005年、MFS入社

2011年、米国株式リサーチ・ディレクター

2012年、株式ポートフォリオマネジャー

2016年、グローバルリサーチ・ディレクター

2019年1月、CIO



○ キャロル・ジェレミア (Carol W. Geremia)

社長、グローバル・ディストリビューション部門責任者

1984年、MFS入社

2001年、確定拠出サービス部門(MFS Retirement Services)社長

2004年、年金・機関投資家部門(MFS Institutional Advisors)社長

2011年、グローバル・ディストリビューション部門責任者を兼務

2018年1月、社長、兼グローバル・ディストリビューション部門責任者





1 October 2020

MFS would like to make you aware of an upcoming executive personnel transition. Effective 1 March 2022, current CEO Michael W. Roberge will become CEO and Chair of MFS. Robert J. Manning, a 36-year MFS veteran and current executive chair, has announced his intention to retire from the firm at that time.

Rob and Mike have worked together for nearly 25 years. Mike's assumption of the chair's duties is part of MFS' long-term approach to succession planning. His significant industry and MFS experience have provided him with the experience necessary to succeed Rob in this role while continuing to serve as CEO. Mike will also work closely with CIO Ted Maloney, myself and the rest of the MFS Management Committee and other senior leaders to set strategy and lead the business as CEO and Chair.

Rob and I joined MFS only a few months apart in 1984. While I am personally sad to see him announce his retirement, I am also extremely happy for him and his family. Under Rob's leadership, MFS has fully transformed itself into a truly global investment management firm, capable of investing and serving clients in every major market around the world. Personally, Rob is a true friend and partner, whose passion, energy and genuine loyalty transcend the barriers of ego and short-term thinking that so often prevent leaders from breaking through and making personal connections with peers and large groups of employees. Rob will leave MFS in a better, stronger position than when he was named CEO in 2004 and while we will all miss him dearly, we embrace the challenge of living up to the legacy he has left in place for the firm and our clients.

Please reach out to me, Mike or your MFS relationship manager if you have any questions regarding Rob's upcoming retirement. Thank you for your continued faith and trust in MFS.

Sincerely,

A handwritten signature in cursive script that reads "Carol Geremia".

Carol Geremia



(参考訳)

2020年10月1日

2022年3月1日付で現在の最高経営責任者（CEO）であるマイケル・ロバージがCEO、兼会長に就任致します。36年間MFSに在籍し、現在エグゼクティブ・チェアマンを務めるロバート・マニングは、同日付で退任する予定です。

ロバージとマニングは25年近く一緒に働いてきました。ロバージのチェアマン就任はMFSにおける長期的な経営承継計画の一ステップです。ロバージはCEOとして彼の金融業界そしてMFSでの豊富な経験を活かしマニングを支えてきました。ロバージは今後、最高投資責任者（CIO）であるテッド・マロニー、私キャロル・ジェレミアそして、他の経営陣たちと密に連携を取りながら運用戦略の策定を行い、CEO、兼会長としてビジネスを牽引していきます。

1984年、マニングと私はMFSに数か月違いで入社しました。彼の引退は個人的にも悲しいことですが、彼の益々の活躍を願っています。マニングのリーダーシップのもと、MFSは世界のあらゆる市場に投資をし、世界中のお客様に商品を提供するグローバルなアセット・マネジメント会社へと成長しました。マニングは私にとって信頼する友人かつパートナーであり、彼の持つ情熱、エネルギーそして忠誠心によって、短期志向やエゴといった従業員たちとの信頼関係を築くうえでの障害を取り払ってきました。マニングは2004年のCEO就任時よりもMFSをより強固な立場にし、この度退任します。社員一同マニングの退任をととても寂しく感じていますが、私たちは彼がMFSとお客様のために築き上げた財産を守り、挑戦していきます。

マニングの退職に関しご質問がある場合は、私、ロバージ、またはMFS営業担当者宛てにお問い合わせください。皆様の日頃のご愛顧に心より感謝申し上げます。

A handwritten signature in cursive script that reads "Carol Jeremia".

キャロル・ジェレミア